

茨戸アカシアハイツ新型コロナウイルス感染症患者の発生状況と対応

2020年5月14日
社会福祉法人札幌恵友会

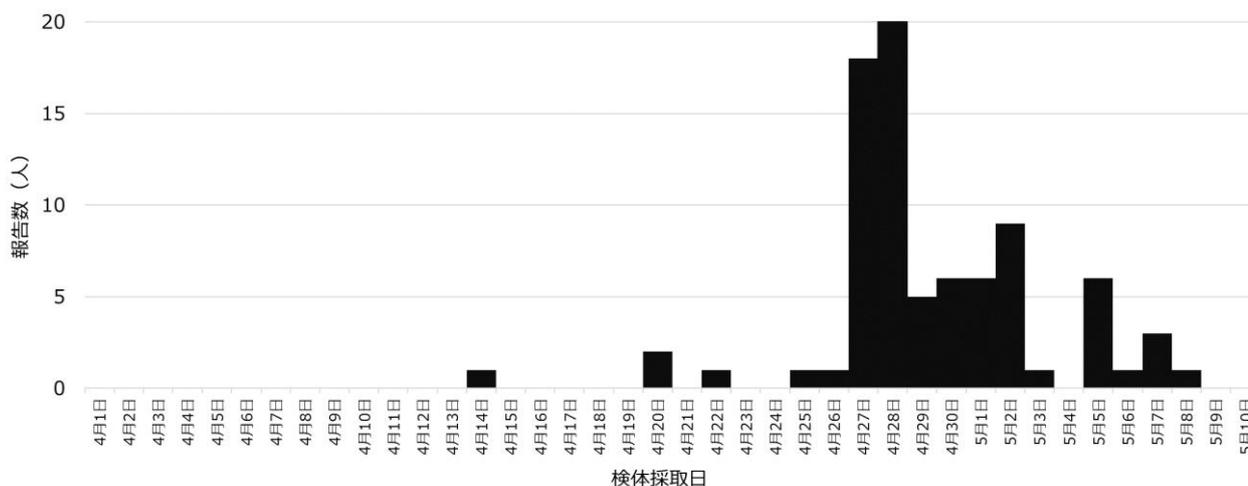
2020年4月26日に介護老人保健施設茨戸アカシアハイツにおいて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の患者発生が確認され、その後同施設の職員と利用者（含、茨戸デイケアセンター）から複数のCOVID-19患者が確認されました。5月10日時点における患者発生状況と対応についてお知らせします。

患者発生状況

2020年4月1日から5月10日までに、茨戸アカシアハイツ（定員100人）又は茨戸デイケアセンター（定員60人）の職員（職員は両施設で活動しているため両施設合算）と利用者で、PCR検査によりCOVID-19と確認された患者についてまとめました。施設での感染管理上の必要性から、症状の有無に関わらず、原則職員と茨戸アカシアハイツ入所者は検査を実施しております。

4月14日に検体採取した患者で最初にCOVID-19患者が確認され、合計で82患者が確認されました。最初の患者は4月8日に発症しており、4月14日に感染が確認され、4月28日にピークを認めていました（図）。

図 茨戸アカシアハイツ及び茨戸デイケアセンターCOVID-19患者の発生状況、4月1日～5月10日、n=82



患者の性別は女性が62人（76%）であり、最も多いのは80代でした（表）。患者は職員から20例、茨戸アカシアハイツ入所者から59例、茨戸デイケアセンターから3例確認されました。現在利用できる情報からは、患者は、茨戸デイケアセンター利用者、職員、茨戸アカシアハイツ入所者の順に確認されていました。医師の判断に基づき、病院で治療する必要があるとされた方は、病院に搬送されています。5月10日時点で茨戸アカシアハイツ入所者9例の死亡が確認されております。死亡例は70歳代から100歳代であり、心血管系疾患、呼吸器疾患などの基礎疾患を全9例に認め、介護度は全介助が1例、半介助が5例でした。

表 茨戸アカシアハイツ及び茨戸デイケアセンター-COVID-19 患者の基本情報

	全体 (n=82)	職員 (n=20)	茨戸アカシア (n=59)	茨戸デイケア (n=3)
性別 女性	62 (76%)	14 (70%)	47 (80%)	1 (33%)
年代	20代~100代	20代~70代	50代~100代	70代~90代

職員は 108 人が勤務しており、濃厚接触者として同定された 88 人の健康観察が 5 月 15 日まで続けられています。茨戸アカシアハイツでは、95 人の入所者のうち 36 人の濃厚接触者が、5 月 1 日以降施設内で患者とは離れた場所で健康観察されています。茨戸デイケアセンター利用者では、濃厚接触者として 58 人が同定されましたが、4 月 15 日以降患者は確認されておらず、最終曝露日から 2 週間経過した 4 月 29 日に健康観察を終了しました。

対応

現在、茨戸デイケアセンターは閉所しており、茨戸アカシアハイツでは保健所や国・地域の感染症診療・感染症対策・医療体制の専門家の支援のもと、下記の対策が実施されています。

1. 入所者への介護サービスの継続
2. 患者情報の収集と整理
3. 施設での患者に対する健康観察と医療提供
4. 濃厚接触者の健康観察及び必要に応じた検査実施
5. 施設の業務に従事する人に対する感染管理（個人防護具の調達、感染管理指導、ゾーニングへの助言）

COVID-19 患者発生状況は日々変化していきますが、関係各所と連携しながら、通常のサービスを提供できるよう対策をすすめてまいります。